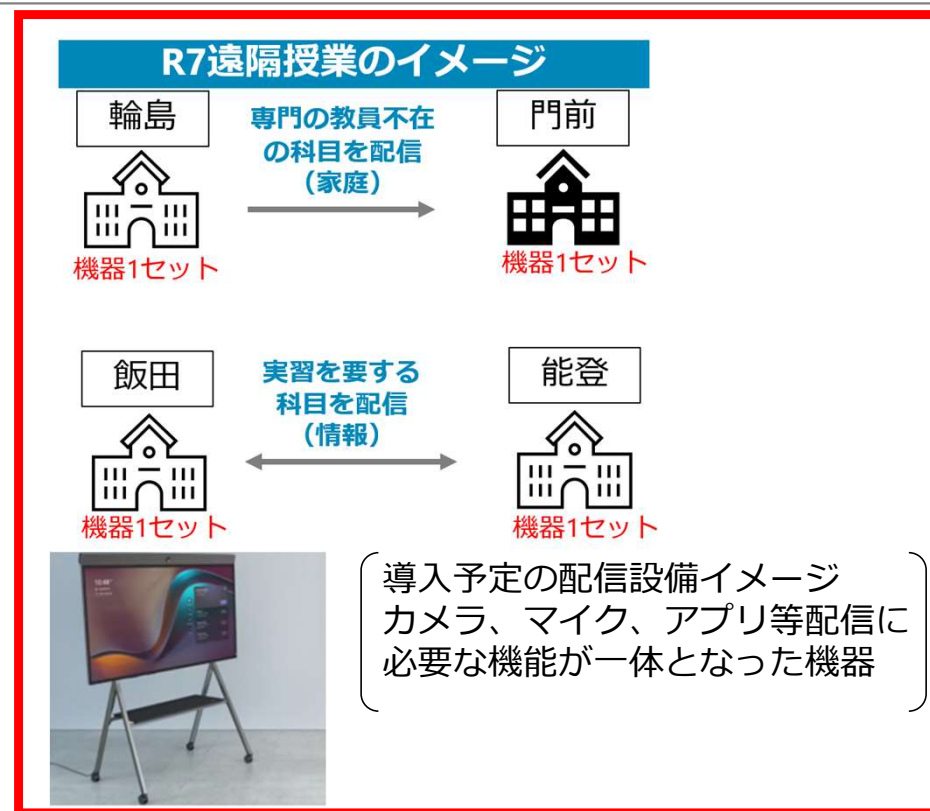


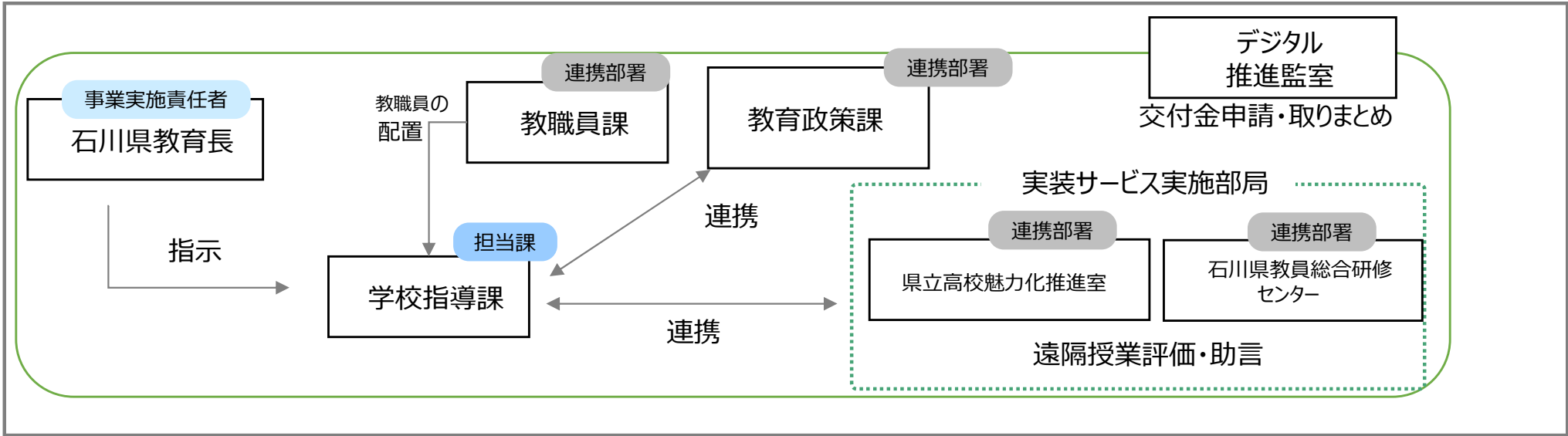
事業概要【遠隔授業モデル実施事業】

自治体名	石川県	人口	1,097,539,人	事業費	6,347千円
事業概要	能登地域の高校では、過疎化による入学者の減少に伴い、各校への専門教科等の教員配置が難しい状況となりつつある中、今般の地震や豪雨により、拍車がかかることが懸念されており、地域唯一の高校として多様な進路希望に応じた教育を行う必要があることから、学校間の遠隔授業を実施することで、専門の教員による授業内容の質の充実とともに学校の魅力化を図る。				
具体サービス	○生徒の学習機会の充実に向けて、奥能登地域の高校をモデル校とし遠隔授業を実施。 (R7は、飯田、能登、輪島、門前の4校を想定、導入、遠隔授業機器は4セット) ・輪島高校の家庭の教員が、門前高校の家庭の科目を、輪島高校にてオンラインで授業 ・飯田（能登）高校の情報の教員が、能登（輪島）高校の情報の授業を、飯田（輪島）高校にてオンラインで授業 ・業後の補習や学校間交流 【遠隔授業設備の導入】 ・カメラ、マイク一体型機器 ・75型ディスプレイ+スタンド ・ZOOMライセンス など R7遠隔授業のイメージ The diagram illustrates the R7 remote learning model between four schools: 輪島 (Rishu), 門前 (Monmae), 飯田 (Ihara), and 能登 (Noto). Each school is represented by a school icon and the text '機器1セット' (1 set of equipment). The connections are as follows: 輪島 (Rishu) to 門前 (Monmae): 専門の教員不在の科目を配信 (家庭) (Distributing subjects without specialized teachers (Family)). 飯田 (Ihara) to 能登 (Noto): 実習を要する科目を配信 (情報) (Distributing subjects requiring practical experience (Information)).				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 遠隔授業実施回数		【アウトカム指標（成果指標）】 ① 遠隔授業実施による生徒の満足度		

サービス名	遠隔授業の環境整備	事業費	6,347千円
ターゲット	奥能登地区の高校生および教職員、地域		
サービス内容	○生徒の学習機会の充実に向けて、奥能登地域の高校をモデル校とし遠隔授業を実施。（R7は、飯田、能登、輪島、門前の4校を想定、導入遠隔授業機器は4セット） ・飯田（能登）高校の情報の教員が、能登（輪島）高校の情報の授業を、飯田（輪島）高校にてオンラインで授業（週2回×1クラスずつ） ・輪島高校の家庭の教員が、門前高校の家庭の授業を、輪島高校にてオンラインで授業（週2回×1クラス） ・受信校である門前高校では、教職員が受講生徒を支援（生徒は双方向で教員とやり取りを行える授業） ・業後の補習や学校間交流（探究活動など） ・2年目以降は、実施校や対象科目を拡大、授業の2校同時配信等による学校を超えた生徒の学び合い ＜サービスによる効果＞ ○奥能登地区の高校の教育環境の得られた成果や課題を今後の本格運用に反映 ・当該教科を専門とする教員による授業、これまで受講できなかった科目の設置、将来的には2校同時配信による他校の生徒との学び合い、習熟度別授業の実施など、質の高い学びを実現。 ・高校は地域を担う人材の育成の場であり、地域の活性化に果たす役割が大きい。遠隔授業で専門教員による授業により、地域唯一の高校として多様な進路希望に応じた教育を行うことで、学校の魅力化を図るとともに奥能登地域の活性化に繋げていく。 ☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した		



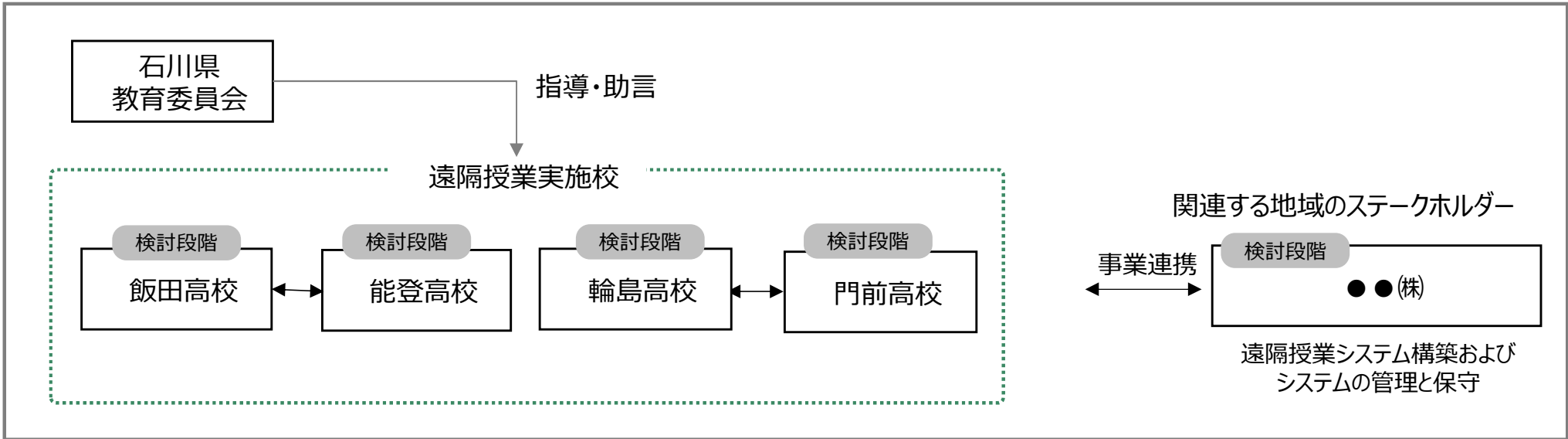
■ 庁内の推進体制



【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	教育長	・ 事業全体のマネージメント・進捗管理
事業担当課	学校指導課	・ 関連部署との調整、業務フローの検討、システムの調達、アンケートの作成および集計
連携部署	教職員課	・ 遠隔授業に係る教員配置を所管
連携部署	教育政策課	・ 学校用のネットワークの管理
連携部署	県立高校魅力化推進室	・ 事業に対する評価・助言
連携部署	石川県教員総合研修センター	・ 遠隔操作方法の助言

■ 事業推進体制（R7）



名称	役割
石川県教育委員会	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理・統括業務内諾済
飯田高校	- 協議会への参加 - 事業実施に係るノウハウの提供
能登高校	- 協議会への参加 - 事業実施に係るノウハウの提供
輪島高校	- 協議会への参加 - 事業実施に係るノウハウの提供
門前高校	- 協議会への参加 - 事業実施に係るノウハウの提供

名称	役割
●●(株)	遠隔授業システム構築およびシステムの管理と保守

■ サービスを地域に普及・定着させるための工夫

- ・能登地域の他校への遠隔授業の取組成果の紹介
- ・遠隔授業の取組を実施校のホームページに掲載し、地元住民や中学生へ周知
- ・受信校の学校長が中学校へ訪問した際に、遠隔授業により多様な生徒へ対応できる体制であることを周知
- ・体験入学や公開授業日に、中学生や保護者に遠隔授業体験を実施し、遠隔授業の理解を図る

■ サービスの質やユーザー満足度の向上・改善の手法

定期的な評価・改善について

- ・学校指導課指導主事等による授業参観及び指導助言
- ・配信校の教員、学校指導課担当者が成果と課題を共有し、課題解決に向けて検討
- ・年度末に実施生徒、教職員へのアンケート調査を実施（WEB解析ツール等の利用）
- ・授業改善案の検討

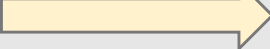
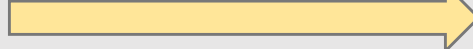
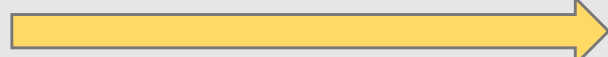
遠隔授業連絡協議会による評価・改善について

- ・構成メンバー：県教委、対象校教員、外部有識者（大学教員等）
- ・オンラインにて実施



遠隔授業の成果と課題を踏まえたノウハウの確立
専門性の高い教員による質の高い学びを提供

■ 運営計画（KPI達成のための中長期スケジュール）

	2025年度	2026年度	2027年度
遠隔授業の改善・機能拡充	遠隔授業の検証 （専門教員のいない教科） （実技を要する教科）  飯田高・能登高 輪島高・門前高	遠隔授業実施校の拡大 （複数科目のある教科） （複数の受信高への同時配信）  穴水高	遠隔授業実施校の拡大 （習熟度別授業の実施）  志賀高
遠隔授業実施期間	飯田高 能登高 輪島高 門前高 	穴水高 	志賀高 